

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

<b>主管課(担当名)</b>	水産研究所	<b>事業区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
<b>事務事業名</b>	共同経済活動における増養殖施設整備事業	<b>事業番号</b>	12917

## 1 施策体系

<b>施策体系との関連</b>	<b>施策区分</b>	6-1	北方領土の復帰を目指す取組みの推進
	<b>施策目標</b>	全国の先頭に立って北方領土の復帰に取り組むまち	

## 2 事務事業の目的

<b>目的</b>	栽培漁業研究センターの外構工事を実施する。
<b>成果</b>	施設の円滑な維持管理を図る。
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
<b>事務区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	R1	施設外構工事						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
R5								
事業費と内訳	(単位:千円)		R1	R2	R3	R4	R5	総事業費
	事業費							
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源						
	人員(人工)							
職員費(人員×7,704千円)								
総事業費								
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

※再掲(事業費は5-2で計上)

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	栽培漁業研究センターの外構工事進捗率	-	-	100%

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	施設の円滑な維持管理が期待される。
-------------------	-------------------

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 見学等が可能な公共施設であるため、市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市直営事業のため、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 施設の円滑な運営のため、緊急性はある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 適切である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 市民ニーズもあり、概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 栽培漁業研究センターを適切に維持管理することで種苗生産業務を円滑に実施できるため、有効性はある。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<b>【計画どおり実施】</b> 速やかに事業推進を図り、適切に施設の維持管理に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 速やかかつ円滑な事業推進を図りたい。

# 事務事業評価(事前評価)シート【令和3年度】

主管課(担当名)	北方領土対策課(北方領土対策担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	北方領土啓発施設整備事業	事業番号	

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	6-1	北方領土の復帰を目指す取り組みの推進
	施策目標	全国の先頭に立って北方領土の復帰に取り組むまち	

## 2 事務事業の目的

目的	北方領土資料館の館内暖房設備の改修
成果	北方領土の現地視察や北方領土関連資料の閲覧のために北方領土資料館を訪れる利用者が寒冷期でも快適に施設を利用できるように館内暖房設備を改修する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概 要						
	R1	北方領土資料館の館内暖房設備の改修						
	R2							
	R3							
	R4							
	R5							
(単位:千円)		R1	R2	R3	R4	R5	総事業費	
事業費と内訳	事業費			3,421			3,421	
	内 訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			3,421			3,421
	一般財源							
	人員(人工)							
職員費(人員×7,704千円)								
総事業費			3,421			3,421		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R2)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	北方領土資料館入館者数		14,890人	-
北方領土資料館開館日数		333日	-	334日
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	館内暖房設備を改修することで北方領土資料館を訪れる利用者が寒冷期でも快適に施設を利用できるようになる。
-------------------	---

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 市民を含む同施設利用者の利便性が向上することから市民ニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市施設の維持改修のため。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 旧根室市観光物産センターのため37年前に整備されたボイラー暖房機を北方領土資料館でも引き続き使用しているが、ボイラーは旧式のものなので交換用部品がなくなり、整備性などの性能が低下しており、緊急性がある。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある ボイラー暖房設備を改修するよりも、設置費用が安いFF式暖房機を採用している。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 誰でも利用できる施設の利便性が向上することから公平性はある。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 同施設利用者の利便性が向上するので有効である。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<b>【計画どおり実施】</b> 来館者が安全・安心に利用でき、北方領土問題への理解を深める施設として、適正な維持・管理に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 適正な維持・管理に努め、利用者の増加につなげるとともに、積極的な北方領土問題の啓発に努める。

作成年月

令和3年7月